

コラムを読み解く(中学・国語)

()中学校()年()組 氏名()

南風録 縄文時代の人々は、ひびが入った土器の割れ目の両側に穴を開け、ひもで結んで修理していた。折れた石斧は木の実をつぶす道具に作り変えて再利用した▼自然素材も有効活用し、動物の骨や角は釣り針やかんざし、ヤコウガイの殻はアクセサリやさじの材料に。上野原縄文の森(霧島市)で開催中の「古代人に学ぶ『MOTTA INAI』」で紹介されている▼縄文人に「もったいない」と言われてしまうだろうか。春から試みる断捨離で多くのごみを出すことになった。もう使うことはないだろう食器や子どものおもちゃ、学用品…。どれにも思い出があつて、「不要品」と思い切るにはしのびなかった▼一部は人に譲ったり、リサイクル店に売ったり。残りを清掃工場に持ち込んだ。車の後部座席いっぱいのごみに後ろめたさも感じたが、大型連休中だったせいも似たような車が次々にやってきた▼環境省のまとめでは2023年度、家庭系ごみの1人1日当たり排出量は全国で475g。鹿児島県は499gで単純計算すると年間約182kgに上る。減少傾向とはいえものの環境負荷や処理費用がかかるごみの削減は重要課題だ▼何でも手に入る現代、壊れた物を修理するより買い替えた方が楽なことが多い。長く使うことを考えて購入する意識も必要になる。SDGsという言葉がなかった時代の知恵と工夫にあやかりたい。

2025年5月15日付1面

【問1】縄文時代の人々の暮らしに述べられている、ごみの削減への対策を三つ書きましょう。

【問2】全国での、家庭系ごみの1人1日当たりの排出量を書きましょう。

【問3】鹿児島県での、1年間での1人当たりの排出量を書きましょう。

【問4】ごみの削減が重要課題なのはなぜですか。

【問5】ごみの削減のために私たちができることは何でしょう。あなたの考えを書きましょう。

* 習っていない漢字とむずかしい言葉の解説 *

・縄文時代(じょう・もん・じ・だい) = 約1万2000年前から2300年前まで続いた、日本列島の旧石器時代から弥生時代への移行期をさす。

・石斧(せき・ふ) = 斧(おの)の形をした石器。伐採具(ばっ・さい・ぐ)、工作具または農耕具。

・断捨離(だん・しゃ・り) = 不要な物を断ち切り、物への執着(しゅう・ちゃく)をなくすことで、身軽で快適(かい・てき)な生活や人生を手に入れようとする考え方。具体的には家にある不用品を捨て、物への執着から離(はな)れること。

譲(ゆず)ったり 清掃(せい・そう) 座席(ざ・せき) 系(けい) 排出(はい・しゅつ) 傾向(けい・こう) 処理(しゅ・り)

・環境負荷(かん・きょう・ふ・か) = 人間活動が自然に与える負担。開発やエネルギー消費、工業・食料生産、ごみの廃棄(はい・き)などで生じる。

・削減(さく・げん) = 数や量を削(けず)って減(へ)らすこと。

